2029年度以降に工事が始まる新しい図書館構想は

日本共産党あやせ　上田　博之

●中心市街地に広くゆったりとした新図書館の建設を

Q　図書館基本構想の素案では、「中心市街地の魅力アップの一翼を担う施設」となっているが、整備場所は。

A　具体的な候補地は、令和７年度に策定する基本計画の中で検討する予定である。

Q　素案は、現在の図書館と比べて３・４倍の広さになるが、一般開架のスペースや学習スペースの考え方は。

A　閲覧席数は現段階で未定だが、学習室は従来型に加え、飲食をしながら学習の利用も可能なフリースペースなどを設置し、座席数を拡充する方向で検討を進めている。

Q　利用者が求める情報を的確に提供する、レファレンスサービスの充実も重要だが、どう充実させるのか。

A　令和６年２月に新たにカウンターへ案内サインを設置し、「相談窓口」と分かりやすい表示をしている。

●自己負担が高額な新型コロナ薬に対し市独自の支援を

Q　コロナ関連死は、６年３月までの11カ月間で約７万人に及ぶ。新型コロナ薬の自己負担額は約３万円と高額なため、薬の処方を断らざるを得ない高齢者や基礎疾患のある方、非課税世帯に対して市独自の支援が必要では。

A　新型コロナウイルス感染症の治療薬に限定した支援は難しいと考えている。

市民と連動した自殺対策で生き心地のよい社会を

日本共産党あやせ　福田久美子

●自殺対策への取組について

Q　あやせ自殺対策計画（第二期）では、庁内連携による取り組みで強化した事業はどのようなものがあるのか。

A　自殺未遂者への支援は消防署と連携し救急搬送された方や家族に対し、さまざまな相談先につながる相談先カードを配付してきた。令和６年度より、さらなる連携として、自殺未遂者の把握と支援につながっているかの確認を行う取り組みを行っている。

Q　啓発や周知に関して、市ホームページの相談先の掲載をさらに工夫できないか。

A　相談者が適切な相談先につながることができるよう掲載方法を工夫していく。

Q　自殺願望のある方を心配する、見守る側へのアプローチは、どのようなものか。

A　ゲートキーパーとして支える側が支援を受けることも解決の一つであることから、今後、ゲートキーパー養成講座や各健康講座を通して啓発や周知を図っていく。

●高齢者介護におけるみとりへの取組について

Q　人生の最終段階のみとりに対する市の取り組みは。

A　市内在住の65歳以上の方へ配布している「人生いき手帳」には、自分の意志を記載でき、病院からの退院時などは、在宅医療や介護の相談を行う在宅療養相談室を設置している。

コロナワクチン接種のリスクなども周知すべきでは

成田　龍二

●新型コロナワクチン接種の自治事務化と国家賠償請求について

Q　第92回厚生科学審議会資料「医療機関からの副反応疑い報告状況」に、コミナティ筋注での死亡数が1376人とある。新型コロナワクチンの死亡率はインフルエンザワクチンと比べ約100倍となる。ワクチンの副反応などを広報せず健康被害を広げたとして、国は集団訴訟を起こされた。今後は市が提訴されるリスクがあるため、製品の特性や健康被害の数値を市ホームページで周知しないか。

A　ワクチンの種類、効果、特性、副反応や健康被害について、数値などを用いてより分かりやすく掲載していく。

●新型インフルエンザ等対策が武器化されるリスクについて

Q　パンデミック発生当初の国の判断は、実績の蓄積などにより変わり得るとの認識を市長と共有できた。専門家の示す正しさは変わり得る仮のものである。政府行動計画にある誤情報への対応は言論統制（武器化）に使われる可能性もある。市には接種回避につながる情報提供は控えよとの声もあると聞くが、健康被害の数値の公表を控えることにより、物を言いにくい間違った社会にしないためにもプッシュ型で周知しないか。

A　公式ラインなどの活用を含め適時適切に対処する。

市長２期８年誠実に積み上げてこられた市政の実績は

あやせ未来会議　安藤多恵子

●綾瀬のまちづくりについて

Q　スマートインターの開通によりまちは大きく変わり始め、今後、古塩市政の集大成というべき事業が次々と花開く予定であるが、改めて実績をお聞かせいただきたい。

A　市長就任の際、推進すべきとして掲げた５つの政策別に述べると、都市づくりでは、本市の発展に不可欠なインターチェンジが開通、中心市街地は魅力ある商業施設の誘致により、今後、新たな賑わいが創出される。道の駅が開業できなかったことは無念であるが、産業の活性化では、オープンファクトリーの支援やデジタル化・省力化に取り組み、外国人人材の誘致は綾瀬モデルを構築し、野菜のブランド化やロケ誘致も高い評価を得られた。地域福祉社会の実現では、学習の機会の格差解消や高齢者が住み慣れた地域で生活できる取り組みを進めた。子ども・女性政策では、読書環境の充実の取り組みを教育委員会とともに進め、都市の質の向上では、学校にマンホールトイレと体育館の空調設置で避難所としての環境も整えた。光綾公園は、令和７年秋に全面供用開始予定となっている。個々に見ると派手さはないが、課題や要望などには徹底的に市民目線で考え施策を展開し、本市の将来を見据えた政策にも手をつけられたと評価している。

市の木「やまもみじ」

６月定例会で可決された決議

佐竹百里議員に対し謝罪と譴責を求める決議

佐竹百里議員は令和６年６月12日に開催された基地政策特別委員会において、国に対し重要な要望書案を審議中、体調不良を理由に早退をされた。

その後、事前予約を入れていた経済団体の役員に挨拶に訪れ、午後の委員会再開時間後まで面会をされていました。体調不良による早退は、自宅等で静養又は医療機関に受診をして体を整えるためのものである。

委員会開会時間中に、体調不良により早退したにも関わらず、経済団体の役員に面会しており、委員会を離脱したことは、市民の代弁者である議員として、責務を果たしているとは言えない。

よって、佐竹百里議員に対し、謝罪と譴責を求め、議員としての責任を強く問うものである。

以上、決議する。

令和６年６月21日

綾　瀬　市　議　会

『決議』とは

市民の皆さんからの要望や意見を、国政や県政に反映させるための意見書と同様に市議会の意思を表明するもので、市議会の意思を対外的に表明するためになされる議決のことです。

意見書と異なり、法的な根拠はありません。

「あやせ市議会だより」は、直接お届けしています

あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センター（☎0467－70－3088）の会員が配布しています。

次号は、令和６年11月15日に発行予定です。